

掲示板用リノリウム 『ブルテンボード』 施工要領書



目 次

- I. 下地の準備
- II. 材料の準備
- III. 接着剤について
- IV. 施工（加工）時の注意
- V. 貼り付け時の注意
- VI. 施工手順
- VII. メンテナンス及び注意事項
- VIII. バイトマークの納め方



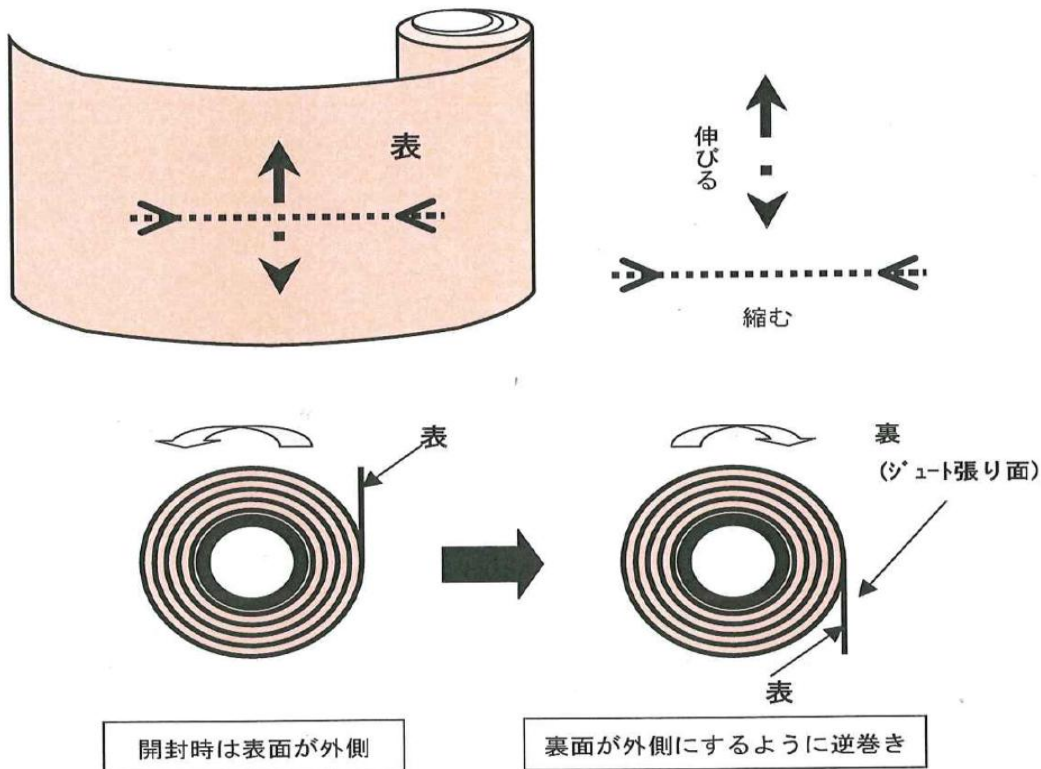
I. 下地の準備

- 1 石膏ボードのV目地や凸凹部分はパテなどで処理して下さい。
(下地補修材キーセルF333)
ベニヤ下地の場合は、厚み5.5mm以上とし、全面接着にて施工して下さい。
- 2 シーラー処理も必要に応じて行って下さい。
- 3 下地が塩ビクロスの場合、施工範囲面の塩ビクロスは剥がして下さい。

II. 材料の準備

- 1 中身を傷つけないように開封してください。ロールは、表面が外側で巻かれています。
(色面が表、ジュート平織り面が裏)
- 2 材料は長手に縮み、幅方向に伸びようとします。

施工前にあらかじめ収縮させるためには、開封して一度広げたロールを逆巻きにして放置して下さい。一昼夜放置するのが理想的です。



ポイント! 逆巻きする時は芯から巻いてください

Ⅲ. 接着剤について

1 自重垂れのないように初期タックの強いものを使用して下さい。

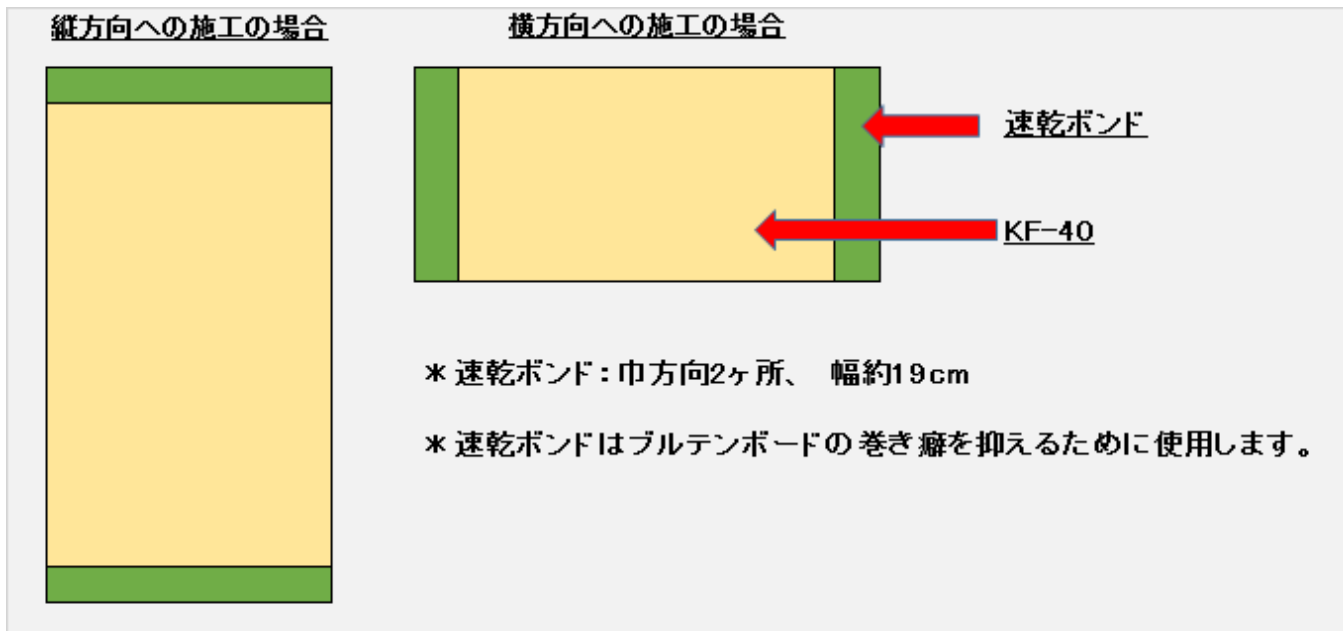
アクリル系接着剤・キーセル KF-40 を推奨致します。

※下地がスチール又は鉄の場合は全面速乾ボンドで施工して下さい。

2 接着剤の取り扱いには下記に従い、下地に塗布して下さい。

- ・アクリル系接着剤キーセル KF-40 は塗布後オープンタイムを取らず接着し、しっかりとハンドローラーを掛け圧着して下さい。
- ・下地になる壁面には B2 のコテを使用、550～600g/m²で塗布して下さい。また、はみ出た接着剤は濡れ雑巾にて直ちにふき取って下さい。あまり強く擦りますと色落ちしますので注意して下さい。
- ・巻癖を抑える為に速乾ボンドを下記のように塗布して下さい。（両面塗布）

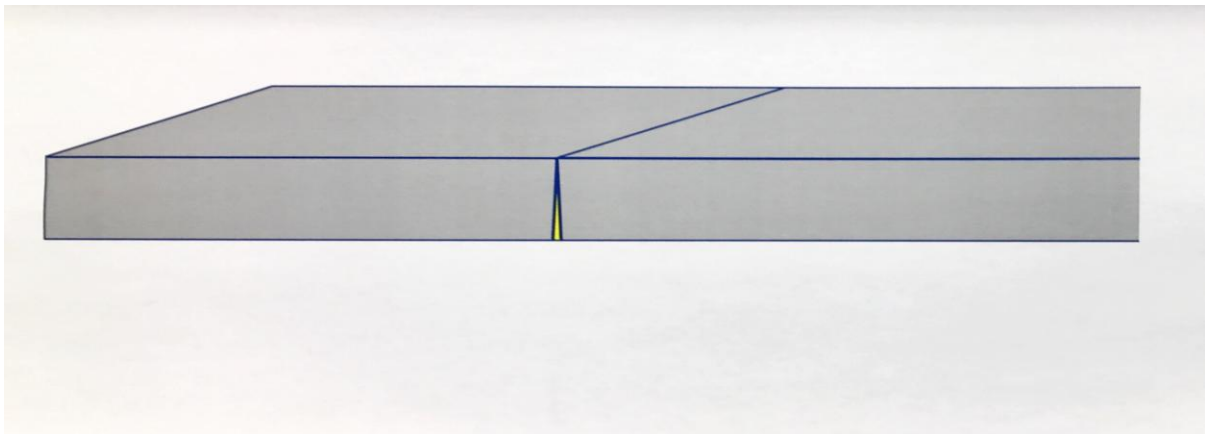
※ジュートバックの為、塗布量は多めに。（目安：3 kg/缶 両面塗布 約 4 m²）



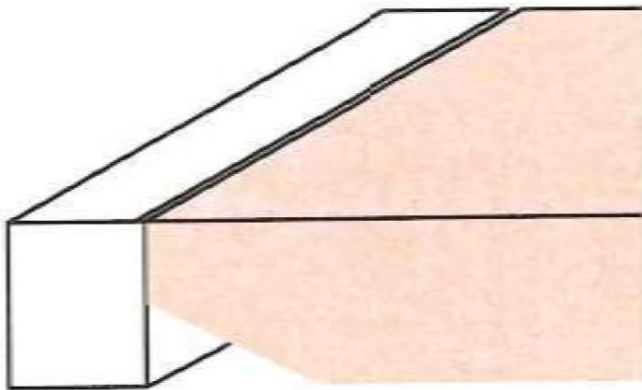
IV. 施工(加工)時の注意

- 1 材料を広げ、**1,200mmを有効幅**として両方の耳(ファクトリーエッジ)を必ずカットして下さい。材料を立てて保管している為、エレファント・フット(自重によるたわみ)があり且つ天然素材の特性として製品幅にバラツキがあります。
そのため、両側の耳をカットしないと綺麗な状態で納まりにくいので注意して下さい。

材料のジョイント部分は基本スクエアカットですが、材料の収縮に追従させたりハンドローラー圧着時の目違いを軽減させる為に気持ちアンダーカットにして下さい。



- 2 仕上り寸法に切る際の長手方向は、1mに対し 1mm程度(参考数値)長めに切って下さい。接着剤を塗布した後の仕上がりが綺麗になります。



V. 貼り付け時の注意

- 1 貼りあがった面は気泡が入らない様に転圧を掛け、ハンドローラーでしっかりと圧着してエア抜きをして下さい。冬場の寒い時期は 30 分後に再転圧を掛けて下さい。
※ハンドローラーは鉄など金属製は不可。
※速乾塗布部分は、ゴムハンマーで入念に叩いて圧着して下さい。
- 2 ジョイントになる目地部分は突き付けです。目地部分は入念にローラー掛けをして下さい。尚、材料自体には同ロット、同ロールでも多少の厚みの違いがあります。



VI. 施工手順

- 1 材料を広げ、両方の耳(ファクトリーエッジ)を必ずカット。



- 2 寸法カットして速乾ボンド塗布 (材料&下地)



3 施工範囲面に KF-40 を塗布 (クシ目 B2 : 550~600g/m²)



4 KF-40 塗布後、オープンタイムを取らず壁面に貼り付け



5 壁面に貼り付け後エア抜きの、ハンドローラーでしっかりと圧着



6 枠の際部分を落とし込み、速乾貼り付け部分をゴムハンマーで入念に圧着



7 施工完了



◎設置箇所が、高い場合や長さがある場合は営業マンにご相談下さい。





VII. メンテナンス及び注意事項

- 1 汚れた場合、無色の薄めた中性洗剤などをスポンジに付けて泡立てながら落として下さい。
少しの汚れは消しゴムで取れる場合もあります。
※あまり強く擦ると表面を傷つけますのでご注意下さい。
- 2 商品の性質上、ロットによっては多少色ムラが発生していることがあります。
- 3 保管時は立てて置いてください。地面に寝かせて置く場合は、重ねないで下さい。

VIII. バイトマークの納め方

- 1 下記の写真のようなバイトマークが 5m標準ロールの 5 本中 1 本に発生します。これは製品クレームではありません。ブルテンボード製造過程の際に必ずおきます。

バイトマークのある位置に、鉛筆もしくはテープで目印を付けておき、このバイトマークのある材料側にも接着剤を塗布して（ハケ目無し）貼り付けてください。バイトマークのある場所には、できるだけ目地を作らないようにしてください。

